

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型)

米ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／通貨セレクト・コース

第18期分配金のお知らせ

2016年12月21日

平素は、「通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型)」各コースをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2016年12月21日に第18期計算期末を迎え、当期の収益分配金(1万口当たり、税引前。以下同じ。)をそれぞれ以下のとおりと致しましたことをご報告申し上げます。

今後ともファンド運用にあたっては、パフォーマンスの向上をめざしてまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

《各コースの分配金(1万口当たり、税引前)》

	米ドル・コース	ブラジル・リアル・コース	通貨セレクト・コース
当期決算 分配金	40円	80円	70円
(前回決算 分配金)	(60円)	(125円)	(110円)
基準価額 2016年12月21日現在	8,363円	7,475円	6,453円

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

分配方針

当ファンドの分配方針は以下のとおりとなっています。

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ② 原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

- ◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型)
米ドル・コース：米ドル・コース
- 通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型)
ブラジル・リアル・コース：ブラジル・リアル・コース
- 通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型)
通貨セレクト・コース：通貨セレクト・コース
- ◆各ファンドの総称を「通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型)」とします。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

Q1 なぜ、分配金が引き下げられたのですか？

A1 現在のインカム性収益および分配対象額の状況、基準価額の水準などを考慮した結果、今後も継続した分配を行ない、信託財産の着実な成長をめざすためには、分配金の引き下げが必要との判断に至りました。

弊社の分配金の考え方は、ファンドの収益配分方針、インカム性収益の水準、基準価額の水準、市場環境等を総合的に勘案して分配金を決定するというものです。

各コースの分配金を引き下げましたのは、現在のインカム性収益および分配対象額の状況、基準価額の水準などを考慮した結果によるものです。

各コースでは、2015年8月半ば以降、世界的な株式市場の下落などリスク回避的な動きが広がり、取引対象通貨の対円為替レートが下落したことや、分配金の支払いなどにより、基準価額が下落しております。また、基準価額の水準が低下したことにより各コースで期待されるインカム性収益の水準も減少してきています。各コースの場合、インカム性収益とは、①株式の配当金、②株式カバードコール戦略で得られるオプションプレミアム、③為替取引によるプレミアム(取引対象通貨と原資産通貨の金利差相当分の収益)が該当します。

足元の分配金と基準価額の水準などを考慮し、今後も継続的な分配を行ない、基準価額の下落を抑え信託財産の成長をめざすためには、分配金の引き下げが必要との判断に至りました。今回、分配金を引き下げたことによる差額はファンドの純資産に留保されることとなります。

《基準価額・純資産・分配の推移》

■米ドル・コース

2016年12月21日現在

基準価額	8,363円
純資産総額	28億円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～13期	合計:	780円
第14期	(16/8/22)	60円
第15期	(16/9/21)	60円
第16期	(16/10/21)	60円
第17期	(16/11/21)	60円
第18期	(16/12/21)	40円
分配金合計額	設定来:	1,060円
	直近5期:	280円



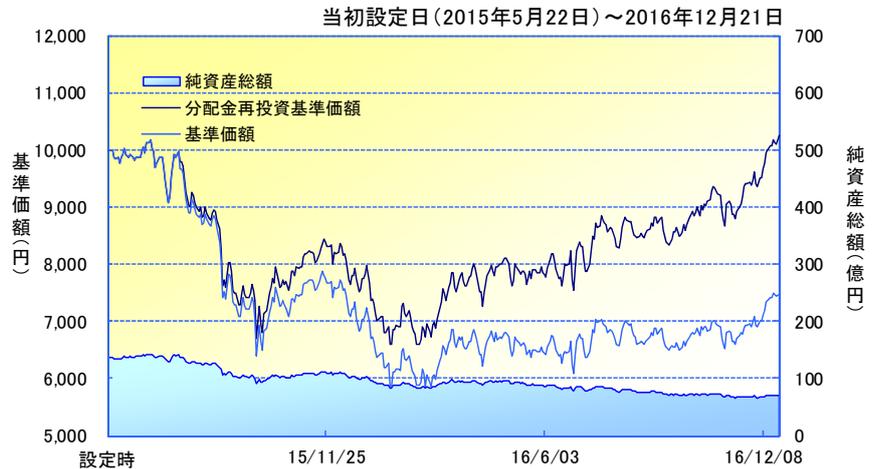
■ブラジル・リアル・コース

2016年12月21日現在

基準価額	7,475円
純資産総額	71億円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～13期	合計:	1,625円
第14期	(16/8/22)	125円
第15期	(16/9/21)	125円
第16期	(16/10/21)	125円
第17期	(16/11/21)	125円
第18期	(16/12/21)	80円
分配金合計額	設定来:	2,205円
	直近5期:	580円



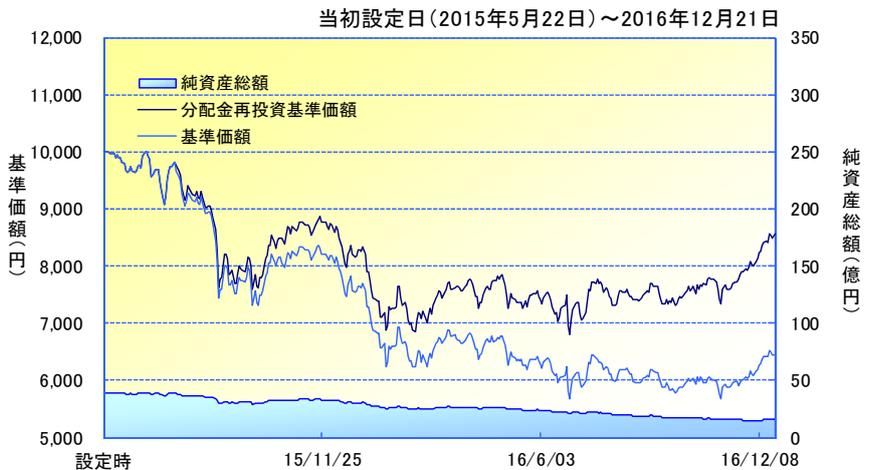
■通貨セレクト・コース

2016年12月21日現在

基準価額	6,453円
純資産総額	14億円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～13期	合計:	1,430円
第14期	(16/8/22)	110円
第15期	(16/9/21)	110円
第16期	(16/10/21)	110円
第17期	(16/11/21)	110円
第18期	(16/12/21)	70円
分配金合計額	設定来:	1,940円
	直近5期:	510円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
 ※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

Q2 分配金はどのように決定したのですか？

A2 分配金は、収益分配方針に基づいて、今後数期にわたって継続できるよう配慮して決定しています。ただし、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

当ファンドの収益分配方針において「原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。」と定めています。当該方針に基づいて分配金は、今後数期にわたって継続できるよう配慮して決定しています。ただし、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、現在の分配金の水準を維持できない、あるいは分配金が支払われない場合があります。特に分配対象額の減少、インカム性収益の低下、基準価額の下落などは分配金の引き下げ要因となります。

Q3 分配金を事前に知ることはできないのですか？

A3 決算日(毎月21日、休業日の場合は翌営業日)の夕方から夜にかけての公表までは、分配金をご確認いただくことはできません。

分配金は事前に決定しているものではなく、ファンドの決算日(毎月21日、休業日の場合は翌営業日)に、ファンドの収益分配方針、配当等収益の水準、基準価額の水準、市場環境等を勘案して委託会社(大和投資信託)が決定します。したがって、事前にお知らせすることはできません。

なお、委託会社のホームページ(<http://www.daiwa-am.co.jp/>)では、夕方から夜にかけて基準価額とともに分配金を公表しますので、そちらをご参照ください。

Q4 分配金を引き下げるといことは、今後の運用に期待できないということですか？

A4 分配金の引き下げは、今後の運用実績とは何ら関係するものではありません。

今回の各コースの分配金引き下げについては、現在のインカム性収益および分配対象額の状況、基準価額の水準などを総合的に勘案し、決定しました。したがって、今回の分配金の引き下げは、今後の運用実績とは関係するものではありません。なお、運用成績は、分配金に加え基準価額の動きも含めたトータルリターン(総収益率)で確認する必要があります。引き続きパフォーマンスの向上をめざしてまいります。

Q5 最近の投資環境と今後の見通しについて教えてください。

A5 米国の長期金利の上昇ペースに左右される展開が想定されますが、トランプ氏の減税、インフラ投資などの景気刺激策、原油などの資源価格の安定、中国の景気見通しの改善などが支援材料になるものと思われます。また、為替市場においても、米国や中国を中心とした経済見通しの改善や日銀による金融緩和政策の継続見通しを受けて、取引対象通貨は対円で底堅く推移すると考えます。

【投資環境(2015年5月以降)】

➤ 株式市況

世界の株式市場は、設定から2016年2月までは、ECB(欧州中央銀行)の追加金融緩和見通しなどを受けて一時的に上昇する局面があったものの、中国での人民元の切り下げを受けて、中国の景気減速懸念が高まったこと、原油価格の下落などの金融市場の混乱などから下落基調が続きました。しかし、2016年3月以降は、原油価格が反発したこと、良好な米國小売上高から米国景気に対する懸念が後退したことなどから上昇に転じました。6月の英国の国民投票でEU(欧州連合)離脱が多数となったことから調整する局面もあったものの、米国企業の良い決算内容、11月の米国大統領選挙でトランプ氏が当選し減税やインフラ投資の拡大などの政策期待などから、株式市場は底堅く推移しました。

➤ 為替市況

(米ドル)

米ドルは対円で下落しました。

設定から2015年末までは、米国や中国のマクロ経済指標などに影響されながらレンジでの推移が続きました。2016年以降は、米国の利上げ観測の後退、日銀の金融政策決定会合において追加緩和が見送られたことなどを受けて米ドルは軟調に推移しました。2016年8月以降は、米国の利上げ観測、トランプ氏の政策期待などを背景として、米ドルは対円で上昇しました。

(ブラジル・リアル)

ブラジル・リアルは対円で下落しました。

設定から2015年9月までは、中国経済に対する懸念が深まるに連れて、投資家のリスク回避姿勢が強まり、また、ブラジルの政治的不透明感が高まったこと、国内景気鈍化への懸念が高まったことなどから、下落基調が続きました。その後は、レンジでの推移が続きましたが、2016年3月以降は、ブラジルの財政健全化への取組姿勢が好感されたこと、原油価格が底堅く推移したことなどを背景として、ブラジル・リアルは対円で反発しました。

(選定通貨)

中国や新興国の景気減速に対する懸念の高まりや世界的な株価の下落、原油安などから市場のリスク回避姿勢が強まり、選定通貨は対円で下落しました。また、日銀の金融政策への失望感も円高材料となりました。しかし、2016年11月の米国の大統領選挙をきっかけに市場のリスク選好度が強まる中で、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。

※ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ・グループのコメントを基に大和投資信託が作成したものです。
※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

よくあるご質問 (Q&A集)

【今後の見通し】

▶ 株式市況

世界の株式市況は、米国の長期金利の動向、中国のマクロ経済状況などに左右される展開が予想されます。しかし、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し、共和党が上下両院で過半数を確保したことで、米国の新政権が企業減税、インフラ投資策などの景気刺激策を積極的に実行することが期待されます。また、原油などの資源価格の安定、中国の景気見通しの改善なども支援材料となり、世界の株式市場は底堅く推移するものと考えます。

▶ 為替市況

(米ドル)

今後の米ドル円相場はトランプ氏の政策動向に対する思惑に左右される展開を見込みます。減税やインフラ投資拡大など経済政策に対する思惑から米国金利の上昇が続けば、米ドル高要因になるとみられます。一方で、同氏が保護主義的な通商政策を進めた場合は米ドル安への誘導も予想され、今後の政策運営やその実現度合いが米ドルの方向性を左右するとみています。

(ブラジル・リアル)

米ドル高観測による資金流出懸念やブラジルの経済見通しの悪化などがリスク要因としてあげられます。一方で、ブラジル債券の金利水準の高さや、テメル政権による財政構造改革の進展により海外投資家の信認改善が続いた場合には、ブラジル資産への投資活発化を通じてブラジル・リアルが下支えされることが期待されます。

(選定通貨)

新興国経済は景況感の回復がみられてきており、過去の通貨危機時に比べると、政府債務残高や国際収支バランス、外貨準備高などが大幅に改善するなど、状況は大きく異なっています。通貨の急激な変動に対して政策金利の引き上げなどの政策当局の適切な対応が期待できることが、選定通貨をサポートする材料だと考えています。

※ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ・グループのコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

以上

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

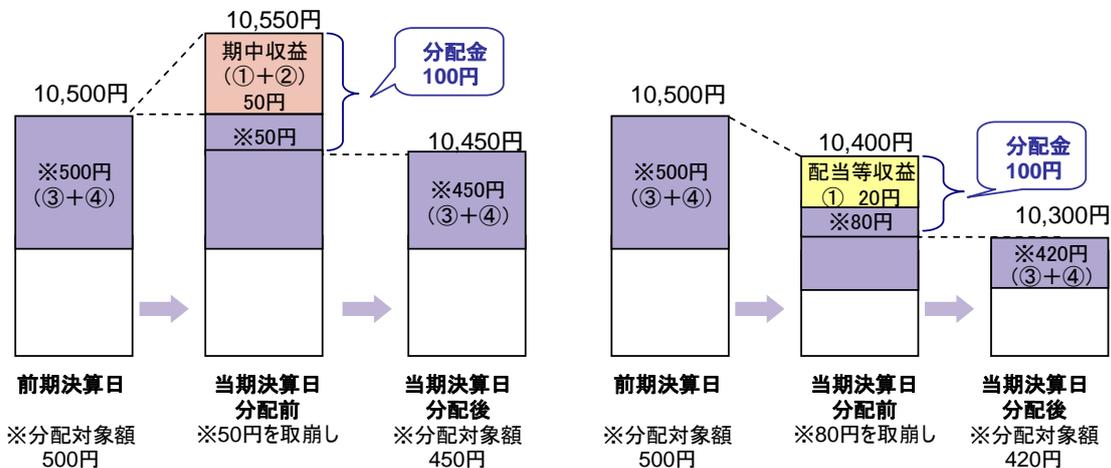


- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合

前期決算日から基準価額が下落した場合

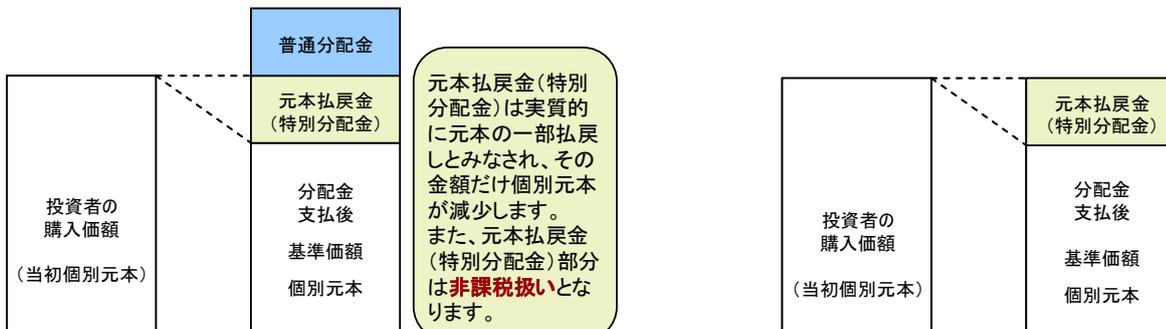


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



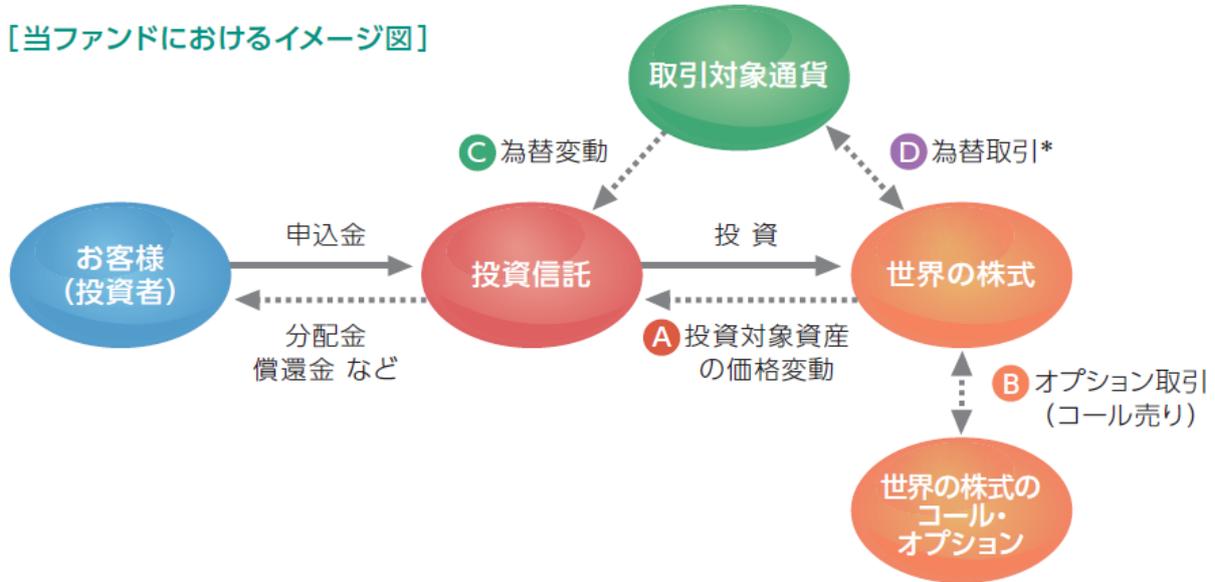
普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。
- 当ファンドでは、世界の株式に投資するとともに、オプション取引および為替取引を活用します。

【当ファンドにおけるイメージ図】



*取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- 当ファンドの収益源としては、以下の4つの要素が挙げられます。これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

収益の源泉	A	B	C	(注) D
収益の源泉 =	世界の株式の配当、 値上がり/値下がり	世界の株式の コール・オプション (売り)のプレミアム/ 権利行使価格を 上回る部分の損失	為替差益/差損	為替取引による プレミアム/コスト (金利差相当分の 収益/費用)
収益を得られる ケース	権利行使価格を 上回る株価の上昇 ↑ 株価の上昇、 配当収入	コール・オプション (売り)のプレミアムの 受け取り ↑	・円に対して 取引対象通貨高 ↑ 為替差益の発生	取引対象 通貨の 短期金利 > 原資産 通貨の 短期金利 ↑ プレミアム (金利差相当分の収益) の発生
損失や コストが 発生する ケース	株価の下落 ↓ ・発行企業の経営不安、 倒産等	権利行使価格を 上回る部分の 損失の発生 ↓ ・権利行使価格を上回る 株価の上昇	・円に対して 取引対象通貨安 ↓ 為替差損の発生	取引対象 通貨の 短期金利 < 原資産 通貨の 短期金利 ↓ コスト (金利差相当分の費用) の発生

(注) 為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。

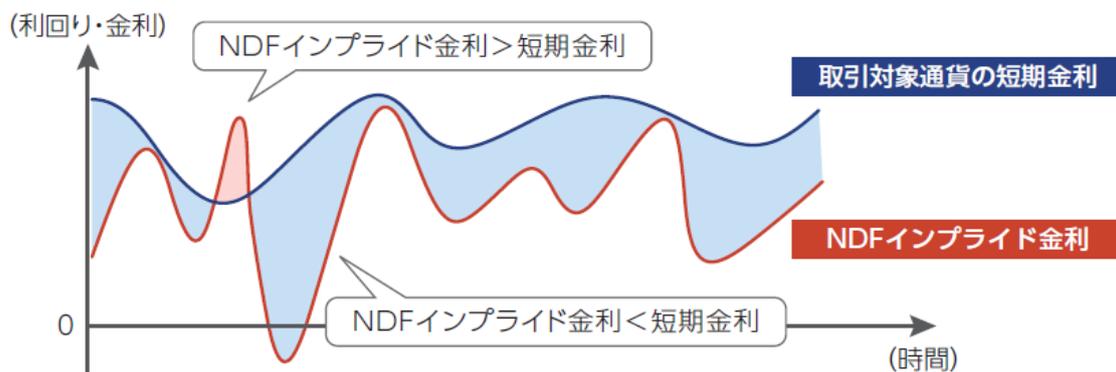
NDF取引を用いて為替取引を行なう際、為替取引によるプレミアム/コスト(金利差相当分の収益/費用)は、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

NDF取引とは

- 取引対象通貨を用いた受け渡しは行なわず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き(裁定)が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。

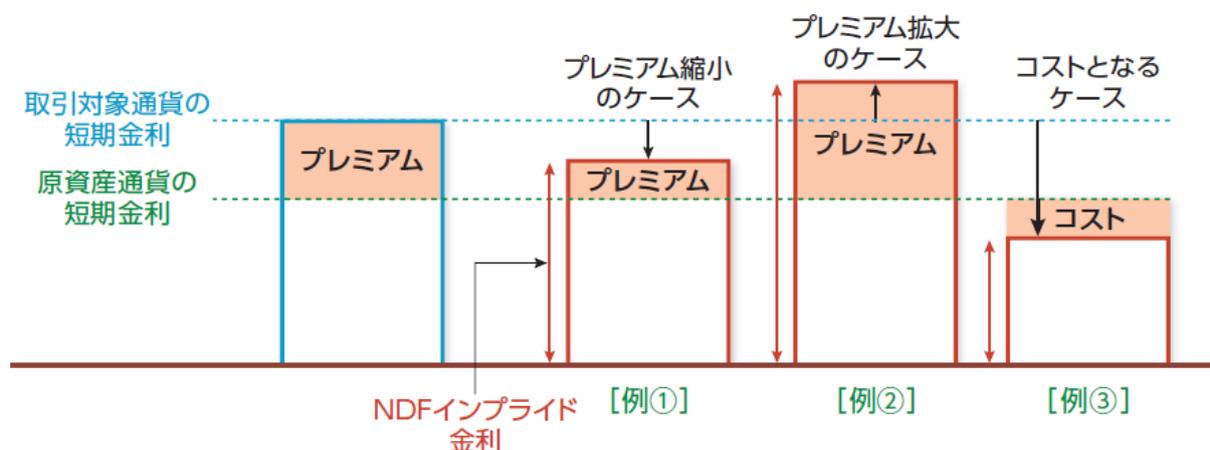
NDFインプライド金利と短期金利が乖離するイメージ



※上記はイメージであり、当ファンドのパフォーマンスとは異なります。

NDFインプライド金利の変動の影響

- 市場参加者の通貨上昇(下落)期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く(高く)なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く(高く)なると、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)が縮小[例①](拡大[例②])し、場合によっては為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)となるケース[例③]もあります。



※上記はイメージであり、実際のプレミアム/コストとは異なります。

※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型） 米ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 安定的な配当と今後の増配が期待できる世界の株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - ◆安定的な配当と今後の増配が期待できる世界の株式に投資します。
 - ◆個別株または保有株の市場を代表する株価指数のコール・オプションを売却することで、カバードコール戦略を構築します。
 - ◆株式およびオプション取引の運用は、ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ・グループが行ないます。
2. 為替取引を活用します。
 - ◆当ファンドには次の3つのコースがあり、原資産通貨売り／取引対象通貨買いの為替取引を行ないます。
※原資産通貨とは、保有資産の表示通貨をいいます。

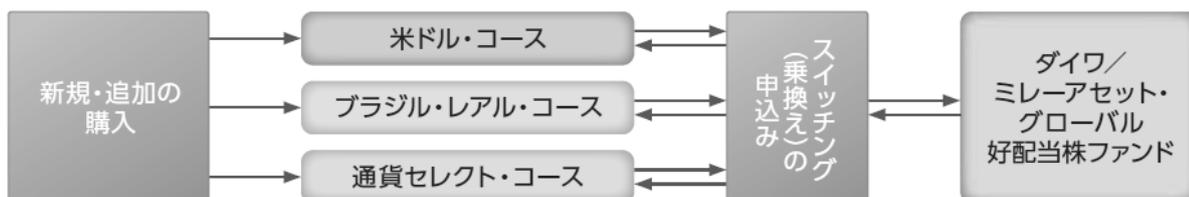
コース名	為替取引の内容	取引対象通貨
 米ドル・コース	原資産通貨売り／米ドル買い	米ドル
 ブラジル・リアル・コース	原資産通貨売り／ブラジル・リアル買い	ブラジル・リアル
 通貨セレクト・コース	原資産通貨売り／選定通貨買い	選定通貨

- 各コースでは、保有資産について為替取引を行ないます。これにより、「為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）／コスト（金利差相当分の費用）」が生じます。
- 各コースでは、為替取引の対象通貨の対円レートの上昇（円安）／下落（円高）により、為替差益／為替差損が生じます。
- 「通貨セレクト・コース」において、選定通貨とは、以下の「通貨の運用方針」により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

[通貨の運用方針]

- 原則として、「シティ世界国債インデックス」および「JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットス ブロード」の構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。
※上記指数構成国の通貨以外の通貨を選定する場合があります。
- 選定通貨の投資比率は、金利水準、リスク水準等を考慮して決定します。
- 選定通貨および投資比率は、原則、毎月見直します。

3. 毎月21日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
4. 各コース間、および「ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株ファンド」との間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。



※「ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株ファンド」の申込みにつきましては、当該ファンドの交付目論見書をご参照ください。

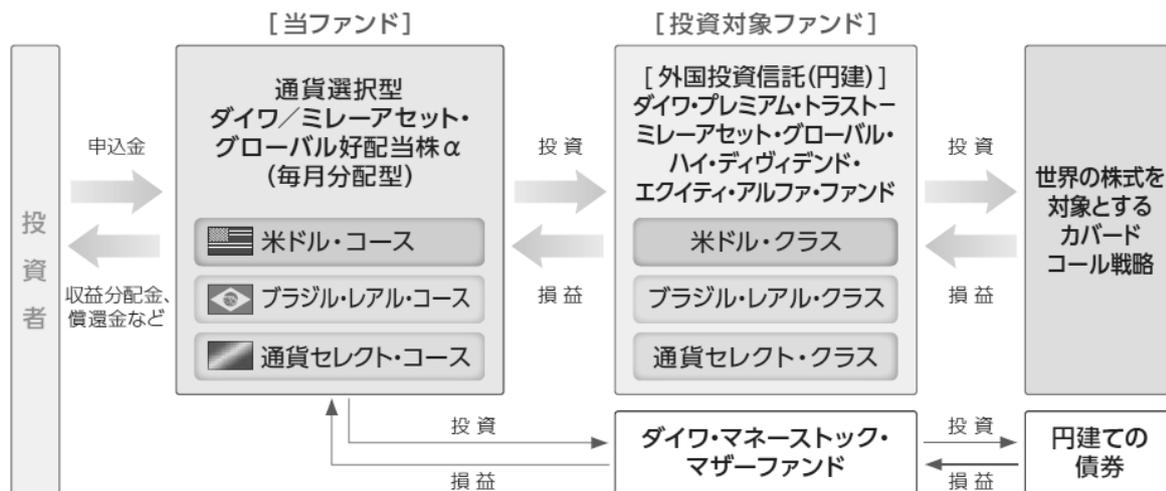
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型） 米ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

5. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

外国投資信託の受益証券を通じて、世界の株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。



- ◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）
米ドル・コース：米ドル・コース
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）
ブラジル・リアル・コース：ブラジル・リアル・コース
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）
通貨セレクト・コース：通貨セレクト・コース
- ◆各ファンドの総称を「通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「カバードコール戦略の利用に伴うリスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。特に、新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。

※為替取引を活用して、取引対象通貨で実質的な運用を行なうことをめざしますが、投資対象資産の通貨である原資産通貨の為替変動リスクを完全に排除することはできません。

※取引対象通貨の金利が原資産通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型） 米ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 3.24%(税抜 3.0%) スイッチング（乗換え）による購入時の申込手数料については、販売会社にお問い合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	0.20%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられる額。換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 1.2744% （税抜 1.18%）	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする 投資信託証券	「米ドル・コース」 「ブラジル・リアル・コース」 年率 0.70%程度 「通貨セレクト・コース」 年率 0.85%程度 この他に「ダイワ・プレミアム・トラストーミレーアセット・グローバル・ハイ・ディヴィデンド・エクイティ・アルファ・ファンド」全体に対して、固定報酬として年額 13,500 米ドルがかかります。	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	「米ドル・コース」「ブラジル・リアル・コース」 年率 1.9744%（税込）程度 （純資産総額によっては上回る場合があります。） 「通貨セレクト・コース」 年率 2.1244%（税込）程度 （純資産総額によっては上回る場合があります。）	
その他の費用・ 手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」に記載しています。

《ご参考》ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

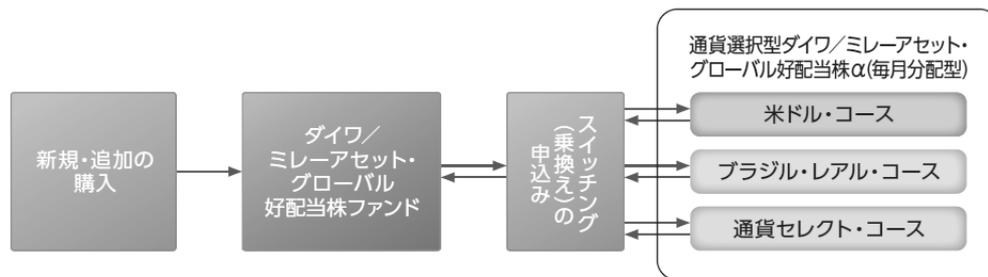
《参考》ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 安定的な配当と今後の増配が期待できる世界の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 安定的な配当と今後の増配が期待できる世界の株式に投資します。
株式の運用にあたっては、以下の点に留意します。
 - ◆世界の株式の中から、配当成長、配当性向、キャッシュフロー、財務状況、株価バリュエーション等を分析し、投資対象銘柄を選定します。
 - ◆投資対象銘柄の中から、時価総額、流動性等を勘案し、ポートフォリオを構築します。
 - ・株式の運用は、ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ・グループが行ないます。
2. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - ・マザーファンドは、「ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株マザーファンド」です。
3. 「通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株 α (毎月分配型)」との間でスイッチング (乗換え)を行なうことができます。



(注)「通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株 α (毎月分配型)」の申込みにつきましては、当該ファンドの交付目論見書をご参照ください。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

《参考》投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動(価格変動リスク、信用リスク)」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

《ご参考》ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

《参考》ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限)3.24%(税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.944% (税抜 1.80%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」に記載しています。

販売会社:

大和証券
Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会